



# 環境 報告書 2021

# 「未来に足りないものは、ありませんか？」

私たちは、いつも問いかけています。  
今を未来へつなげるために、  
人と地球の生命力を高めるために。



私たちは創業以来、常に時代を見つめ、人の暮らしにやさしい環境づくりを目指してきました。創業100年を超えた今も変わらないその理念を、さらにその先へと受け継いでいきます。  
次の時代に必要な、“生きるちから”をつくるために。

株木建設は、2021年に創業100周年を迎えました。  
100年間で築いた高い技術力と使命感を基に、  
持続可能な社会に貢献するため、  
次の100年に向けて歩み始めました。



## 1.企業概要

ご挨拶	P. 1
企業情報	P. 1
かぶきの取り組み(強靱な 3 本の矢)	P. 2

## 2.環境マネジメント

品質・環境方針	P. 3
環境マネジメントシステムの構築	P. 3
建設現場の環境マネジメントの方策	P. 4
環境マネジメントの質の向上を目指して	P. 4
環境マネジメントの関連データ	P. 5

## 3.各部門の取り組み

土木事業本部	P. 7
建築事業本部	P. 9
管理本部	P.11

## 5.最近のトピックス

ICT・現場支援室の設立	P.13
国土交通省 工事成績優秀企業認定	P.14
技術系・事務系資格の有資格者数	P.14

## ご挨拶

### 循環型社会の構築を目指したモノづくり ～地域社会の環境保全への貢献～



代表取締役社長

株木 康吉

地震や台風、強風、集中豪雨等、自然災害が断続的に発生している令和の時代。気象変動に起因する降水量や気温の観測記録更新といった異常気象は、日本のみならず、世界各地で人々の生活に影響を落としています。

先の見通せない不確実な時代にあっても、持続可能な社会の実現に貢献していくためには、これまで以上に、環境問題の解決に率先的に取り組まなければなりません。

そのため当社では、SDGs 目標達成への取り組み、社会貢献活動を始めとし、環境関連法規の順守はもちろんのこと、脱炭素化、資源循環、環境保全に常日頃より努め、環境負荷の低減活動を実施しております。

環境負荷の低減活動では、各作業所で環境目標を掲げ、建設資材のムダの発生防止、特に施工不良による手直し、手戻りの防止や、振動・騒音・粉塵といった建設公害の防止、CO<sub>2</sub>の削減活動など、全社一丸となって取り組んでおります。

また、生産性向上と品質確保を追究する「TPS(トヨタ生産方式)」を建設業にアレンジし、独自の工夫を加えた「KCS(カブキ・コンストラクション・システム)改善活動」を構築、推進しています。

この改善活動では、「見える化」手法を取り入れることで、ムダの発生、手直し、手戻りを効果的に抑制することができています。

このように、より品質の高い施工を目指し、社員一人ひとりが自主的に知恵を絞り工夫を加え、改善活動を継続的に実施していくよう取り組むことは、モノづくりと自然を調和させ、かけがえのない良好な地球環境を次世代へと受け渡していく一助となる活動であると確信しています。

当社はこれからも、未来に向け「循環型社会構築」をめざし、地域社会の環境保全に貢献し、『環境の環』を広げ、人々の生活を支える企業でありたいと考えています。

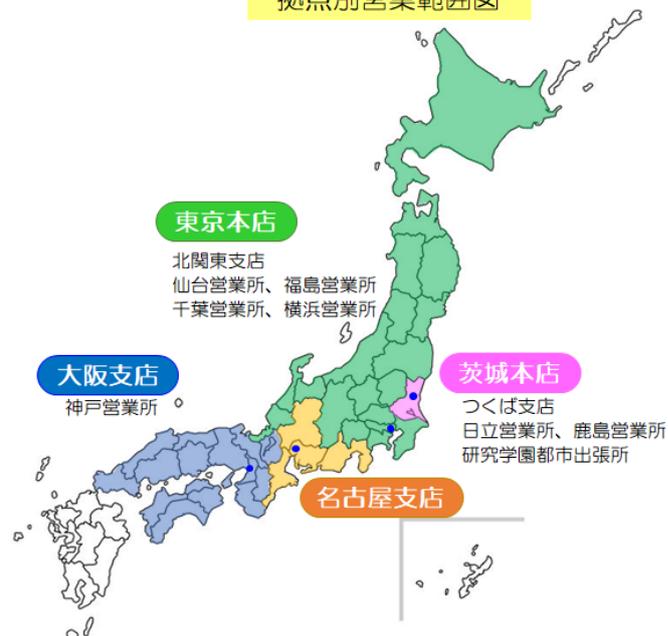
## 企業情報

業態	総合建設業
建設業許可	大臣許可(特-3)第3号
主な事業	土木、建築ならびに関連事業
創業	1921年4月
資本金	27億円
従業員	374名(2022.05)
売上高	319億円(2022.05)

### 本支店所在地

茨城本店	茨城県水戸市吉沢町 311-1
東京本店	東京都豊島区高田 3-31-5
名古屋支店	愛知県名古屋市中区栄 4-7-10
大阪支店	大阪府大阪市北区豊崎 5-8-17

### 拠点別営業範囲図



# かぶきの取り組み(強靱な3本の矢)



## 行動憲章

持続可能な社会の実現に貢献する技術者集団を目指します

建設にかかわる広域なニーズ、技術開発、良質で安全な企画・設計・施工で対応して顧客満足を得、そして社会資本整備に貢献する。

公正、透明、自由な競争を行う。また、政治、行政、発注機関、取引先とは健全かつ公正な関係を保つ。

株主はもとより、広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を積極的かつ公正に開示する。

環境問題への取り組みは企業の存在と活動に必須の要件であることを認識し、環境の改善と向上に向け自主的、積極的に行動する。

「良き企業市民」として、積極的に社会貢献活動を行う。

社員の人格、個性を尊重し、安全で快適な職場環境づくりを行う。

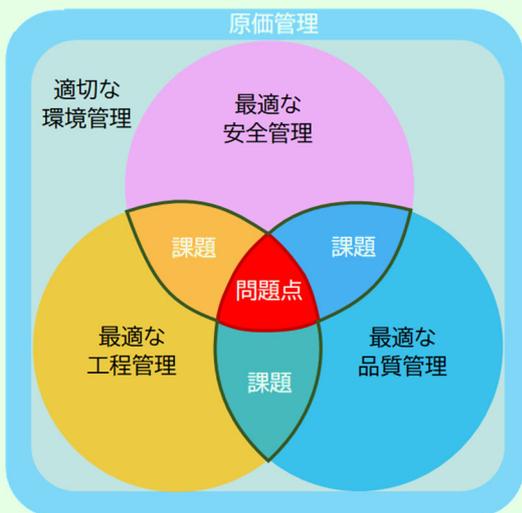
市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは断固として対決し、不当、不法な要求は一切拒否する。

確固たるコーポレートガバナンスのもと健全、堅実な経営を行う。

(以下、省略)



## KCS(カブキ・コンストラクション・システム)改善活動



建設現場は天候や周辺環境の変化により、計画当初とは異なる展開で工程・安全・品質・環境に問題が発生し、時にはトラブルに発展することもあります。

このトラブルを早期に解決するため、『アンドン』と呼ばれる信号(シグナル)で見える化をします。これにより、建設現場と本支店および本社の全管理部門が一丸となって情報を共有し、課題解決に向けた改善活動を行います。

成功事例や失敗事例は会社の財産です。そのため、水平展開によって、良い事例は積極的に各建設現場に取り入れるとともに、悪い事例は今後のリスク評価に活用します。



## 「ワイガヤ」で社会に貢献

我が国は人口減少社会に進展し、建設業界では担い手不足が生じています。そのため、当社は人材確保のため、一人ひとりのライフスタイルをサポートする『かぶきの働き方』を提案します。

### 働き方改革

- ◆週休二日(4週8休)の履行
- ◆ICT活用による省力化・遠隔化



ワークライフバランスの実現

### 担い手の育成

- ◆ICT・現場支援室を中心とした技術支援
- ◆研修の充実化、資格取得の支援



プロフェッショナルな仕事

+

||

「ワイワイガヤガヤ」  
みんなで意見を出し合い、改善活動を通じて社会に貢献する





## 品質・環境方針

目次

企業概要

環境マネジメント

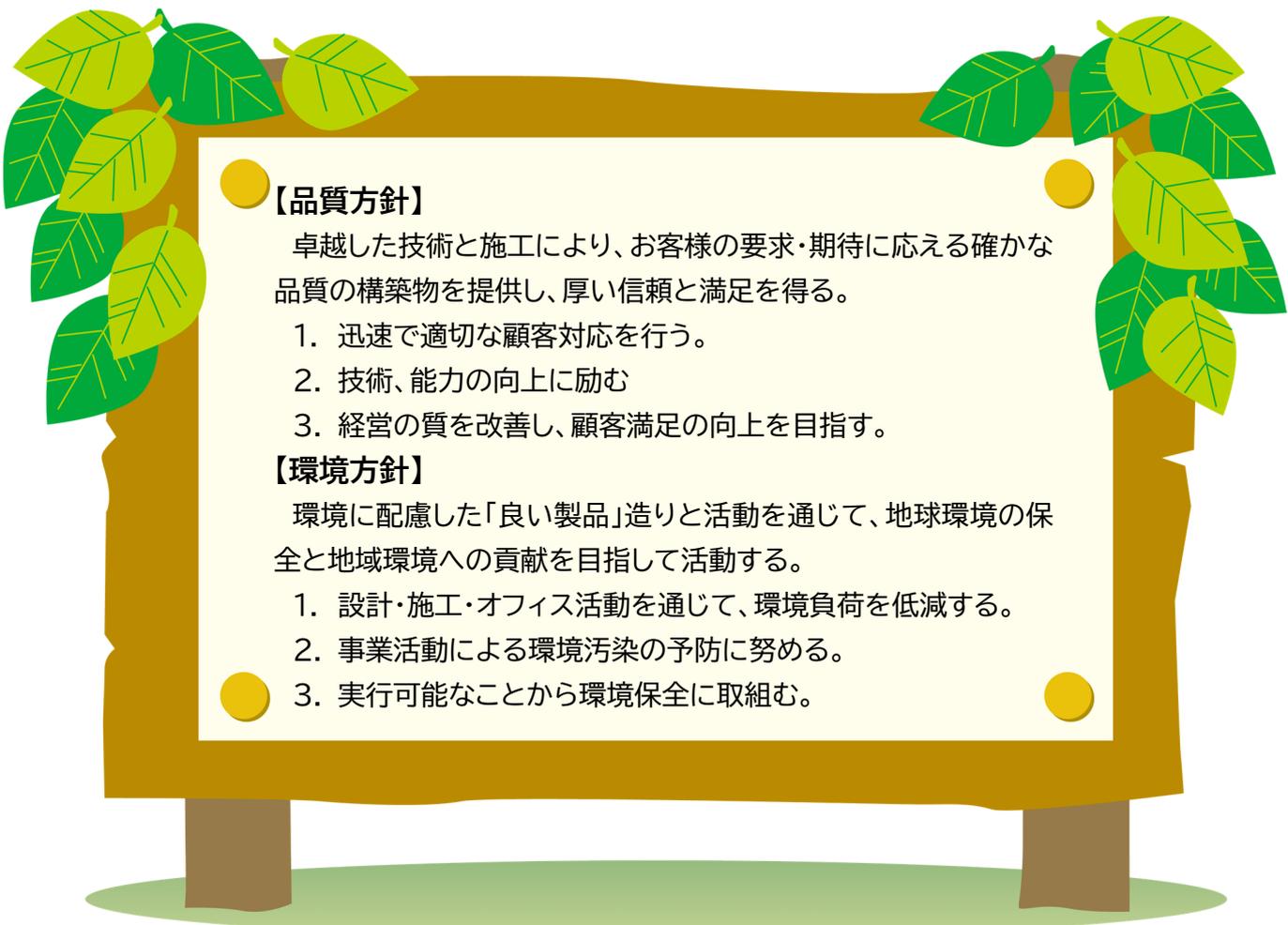
各部門の取り組み

土木部門

建築部門

管理部門

最近のトピックス



### 【品質方針】

卓越した技術と施工により、お客様の要求・期待に応える確かな品質の構築物を提供し、厚い信頼と満足を得る。

1. 迅速で適切な顧客対応を行う。
2. 技術、能力の向上に励む
3. 経営の質を改善し、顧客満足の向上を目指す。

### 【環境方針】

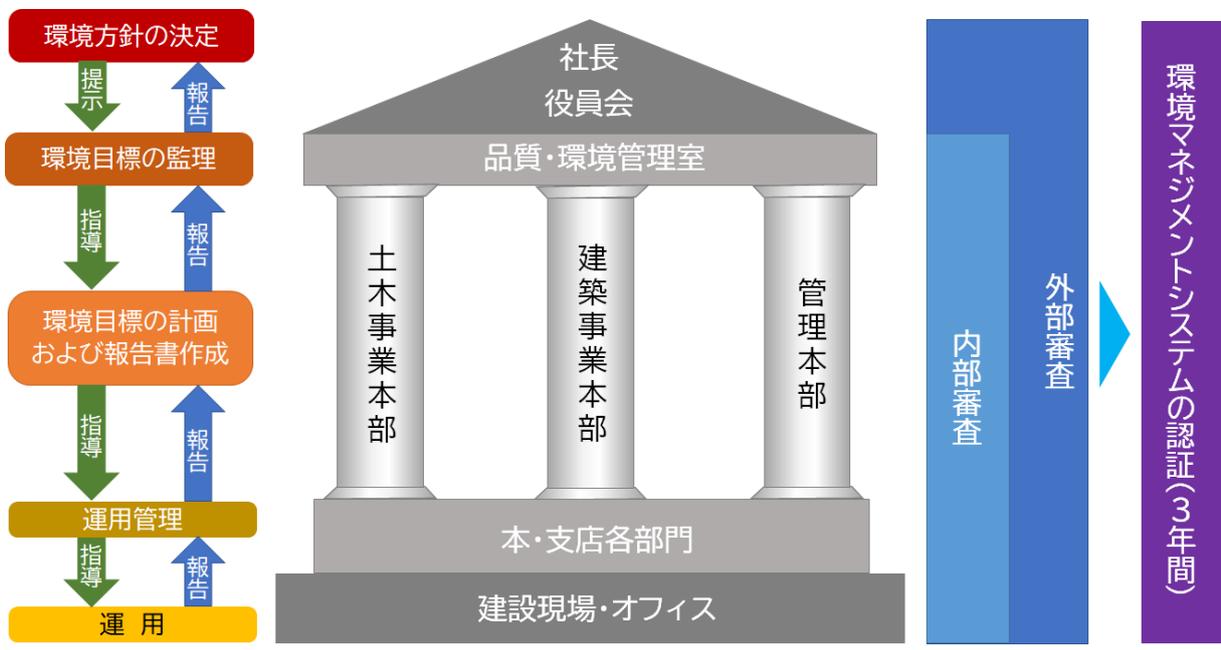
環境に配慮した「良い製品」造りと活動を通じて、地球環境の保全と地域環境への貢献を目指して活動する。

1. 設計・施工・オフィス活動を通じて、環境負荷を低減する。
2. 事業活動による環境汚染の予防に努める。
3. 実行可能なことから環境保全に取り組む。



## 環境マネジメントシステム（登録番号：MSA-ES-476）

環境マネジメントシステムは、外部の審査機関(株)マネジメントシステム評価センター)の審査を受け、環境管理のシステムが正しく機能していることの認証を受けます。これに先立ち、全社の各部門と建設現場のシステムの運用状況を確認し、不備がある場合は改善します。





## 建設現場の環境マネジメントの方策

建設現場

本支店・事業本部

工事受注後

### ① 施工計画の策定



建設工事で発生する環境側面への影響に対して、リスク評価を実施して、影響を低減する方法を決めます。

### ② 工事検討会の開催



建設工事を開始する前に、環境負荷の低減対策に問題がないか、本支店又は本社の全管理部門で検討して指導します。

工事施工中

### ③ 現況報告書の提出（定時および緊急時）

- 『アンドン』  
問題点・異常信号
- 正常
  - 本支店支援
  - 専門チームによる支援



建設工事の施工管理状態を点検します。結果は、シグナルで報告し、支援レベルを決定します。

### ④ 環境パトロールによる現場支援



計画した管理方法と建設現場に問題がないかを診断します。改善が必要な場合は、現場を支援します。

工事完了後

### ⑤ 環境管理データの分析と評価



工事施工中の環境測定記録を基に、環境負荷の低減対策の効果を分析して、定量的に評価します。

### ⑥ 工事竣工報告会の開催



建設工事の施工管理で工夫したことを発表します。この報告データを蓄積して、同様の工事に活用します。



## 環境マネジメントの質の向上を目指して

新技術の活用や創意工夫の優秀な事例を全社員で共有するため、2年に一度、『施工体験発表大会』を開催しています。これにより、環境負荷の低減に資する技術の向上を図り、社内外への情報発信能力を高めます。



### 2021年度 施工体験発表大会の審査結果

最優秀賞	大規模ごみ処理施設乙型 JV・躯体施工計画
優秀賞	道路トンネルの安全・高品質な施工について
優秀賞	長距離 6,000m 導水トンネル TBM 工法による急速施工の工夫

## 工事検討会の実施

### 工事検討会の開催条件

本社開催	土木	請負金額が3億円以上(単独・JV)
	建築	請負金額が5億円以上( // )
本支店開催	土木	受注した工事の全てが対象
	建築	//

開催拠点	土木	建築
東京本社	6件	2件
茨城本店	16件	3件
東日本	1件	3件
西日本	1件	0件



## 環境パトロールの実施回数と評価

建設工事において、法的要求並びに環境負荷の低減対策が適切に施されていることを確認します。

開催拠点	土木		建築	
	実施回数	評価点(平均値)	実施回数	評価点(平均値)
茨城本店	66回	100点	15回	100点
東日本	34回	99点	48回	99点
西日本	18回	100点	13回	100点

2021年度は、土木と建築で合計194回実施し、チェック結果により、法的要求の順守並びに環境負荷低減の対策が適切に実施されていたと評価します。



## 工事竣工報告会の実施

工事期間中に実施した施工プロセスの創意工夫および反省事項の情報を共有し、水平展開を図ることを目的に開催します。

開催拠点	土木	建築
東京本社	5件	4件
茨城本店	3件	4件
東日本	1件	1件
西日本	1件	2件



工事の種類	キーワード	成功事例、失敗事例等	教訓、改善策、気付き等
体育館講義棟新築工事	近隣対応	着工前に近隣から工事に対する質問状があった。対応策として、騒音・振動計の設置、土曜・休祝日の作業開始時間、搬入時間等の現場ルールを定めて関係者全員に周知した。	質問状の内容に対して、事前に対策を実施したため、クレームの発生はなかった。質問状が寄せられた場合は、その時の対応が大切だと感じた。
配水池施設配管整備工事	近隣対応	周辺住民に対する工事に関するお知らせ・広報は余裕をもって行った。また、騒音・振動の測定、道路清掃等の周辺環境に配慮した施工の実施をアピールした。	工事、工程、道路規制等の周辺住民に対する丁寧な説明対応は好印象を与え、良好な関係を築くことができる。
公営高層住宅新築工事	環境	土工事等の重機作業時の騒音・振動、粉じんの発生防止に努める。(特に東面一般住宅街に対して)	低振動・低騒音型重機の使用、防音シート張り槽設置により、杭頭処理はつり作業と散水による飛散防止、残土仮置き時の土埃飛散防止を実施した。近隣への配慮を忘れずに進行了結果、苦情は無かった。
公共岸壁橋上部工事	環境	海上への油と資材の流出を防止するため、オイルフェンス、油処理剤、油吸着マットを常備した。結果的に海上への油の流出もなく、使用することは無かった。	水中コンクリートを打設する箇所では、オイルフェンスを用いてコンクリートのあく等の拡散を防止した。あくの発生に対しては消泡剤を使用して処理した。

# 苦情等の対応事例(KCS 改善活動)

## 建設現場の問題点・異常を信号(シグナル)で報告

【問題点・異常の報告】			KCS「見える化」シグナル		
アンドン信号発信(現場担当者記載範囲) ※不適合(製品)等			本支店土木部レベル表示及び対応記載、本部も同じ		
対象	内容	対応内容	対応日	対応者	結果
工程	杭の施工開始が1ヶ月の遅延発生。3月末まで工期延伸しても工程的に厳しい。	事務所に年度繰越しを打診中。コロナで手続きが簡略化可能なら繰越しに前向きとの回答。	8/16	宮田	R4.3/31まで遅延
原 備	既製杭の本数増、作業土工増、構造物撤去増の見込み。	第1回変更9月16日。	9/16	宮田	約600,000円増
品質	ワカボシ、マイカが品質確保	測量ダブルチェック、出来形確認			
その他	品質	温度解析依頼			
安全	交通量の多い箇所なので第三者との交通災害・苦情の無い様にする	入念な仮設・搬入出計画の実施 近隣へのお知らせを徹底する			
環境	粉塵・振動作業等の低減に努める	粉塵・振動低減機械の採用			
その他	環境	工事用排水の濁度管理			
その他	環境	8/19土埃による隣接店舗より苦情発生	9/13	宮田	補修処理終了 仮囲い設置
その他	資機材 労務等 不足等	特になし			施工との打ち合わせ(4)



経過観察

**店社担当者 確認 (正常)**

## 《経験を踏まえた再発防止策の実施》

**リスクアセスメントによるコンクリート構造物撤去作業の粉じん低減対策**

橋脚底板コンクリートの切断

コンクリート切断片の撤去

底板コンクリートの切断完了

当初の設計では、底板コンクリートの取り壊しはハンドブレイカーを用いた人力施工であった。しかし、コンクリート取り壊し時に発生する粉じんによる苦情が懸念されたため、対策として『ウォールソーイング工法』を用いたコンクリート切断を提案した。

粉じんの低減はもちろんのこと、作業効率の向上と高精度な施工により、人力施工と比べて大幅に改善した。

## 賞賛(表彰)の拝領の履歴

種別	表彰者	受賞者
認定証	国土交通省 関東地方整備局	工事成績優良企業
表彰状	国土交通省 関東地方整備局	安全管理優良受注者(一般土木工事、維持補修工事)
賞状	農林水産省 関東農政局	那珂川沿岸農業水利事業(二期)三美機場建設工事
表彰状	茨城県 水戸市	水戸城二の丸角櫓復元及び土堀整備工事
表彰状	一般社団法人 全日本建設技術協会	造幣局地区補助 176 号線等道路整備工事
表彰状	一般財団法人 全日本建設技術協会	(仮称)造幣局地区防災公園管理棟等整備工事
表彰状	東京土木施工管理技士会	技術者:海老原 弘行、鈴木 秀明、小澤 恒太
感謝状	創価学会	創価学会稲敷文化会館新築工事

目次

企業概要

環境マネジメント

各部門の取り組み

土木部門

建築部門

管理部門

最近のトピックス



# 土木事業本部の環境への取り組み

## SDGs の達成目標との関連性

SDGs 達成目標	土木事業本部の環境目標	運用計画
	1. 労働環境の向上のため、4週8閉所の実現を目指す。 【目標値】全作業所の 50%	① 地区工事検討会にて目標値を設定する。 ② 工事現況報告書(毎月提出)で休日取得の状況を把握する。 ③ 半期および期末における休日取得の達成状況を検証する。
	2. 新型コロナウイルス感染防止対策(アルコール消毒液設置と検温)を全ての作業所にて実施する。	店社安全パトロール等で実施状況を確認する。
	3. 社員と協力会社の健康の確保を全ての作業所にて実施する。	新規入場時に健康診断の実施を確認する。
	4. 国土強靱化に貢献すべく、防災・減災関連工事の受注を推進する。 【目標値】10 件/年	人命・財産の被害を防止最小化するため、流域治水対策や港湾の耐災害性強化対策に寄与する物件の受注を推進する。

### 環境目標2: 新型コロナウイルス感染防止対策

### 環境目標 3: 健康の確保

#### ① 屋外での対策例

作業場所に手洗い場を設置し、アルコール消毒液と非接触型体温計を設置した。



手洗い設備



検温

#### ② 屋内での対策例

事務所及び休憩所にアルコール消毒液と非接触型体温計を設置した。



検温



消毒

#### ① 熱中症の対策例

体内の熱ごもりを検知して暑熱下でのリスクを事前に知らせる。



熱中対策ウォッチ™

環境目標	目標値	目標達成率	評価
4 週 8 閉所の実現	全作業所の 50%	49% (目標の 98%)	目標には僅かに届かなかった。今後も工事現況報告書での休日取得の確認とヒアリングを実施する。
新型コロナウイルス感染防止対策	100%	100%	設備面では問題がないが、対面接触による感染が後を絶たない。特に室内では注意喚起を強化する。
健康診断受診の確認	100%	100%	健康診断の受診率は 100%であるが、感染症や熱中症などの体調管理に注視する必要がある。
防災・減災関連工事の受注	10 件/年	9 件/年 (目標の 90%)	下水道管再構築(3 件)、橋梁耐震補強(2 件)、事前復興事業(4 件)



## FILE1



### 建設現場と ICT・現場支援室の取り組みを業界誌が紹介

一般社団法人 日本建設業連合会 Ace 建設業界【2021年12月号】



茨城本店・土木部

R2 東関東小泉高架橋下部その3工事  
導入、展開、そして次世代への継承  
～ICT 普及を目指す過渡期の「心がけ」～

3次元点群データを活用した出来形管理の効率化



解析

監督員検査の合理化に役立つ『遠隔臨場』の導入



《効果》

- ・移動時間の削減
- ・移動車両の CO2 排出量削減
- ・待機時間の削減



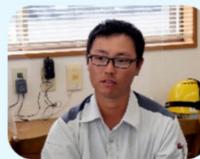
ICT・現場支援室 田中室長

ICT 導入の支援が目的であるが、若い世代には便利さよりも、施工管理の目的や原理を理解させることも重要である。



小泉作業所 海沢所長

ICT はハードルが高いと考えていたが、実際に使ってみると利便性が高く、高精度のレベルであると感じた。



小泉作業所 椎名主任

3次元レーザースキャナーは、測定者が一人で短時間に正確な測量が可能であるため、時短・省力化に効果があることを実感できた。

WorkStyle Lab  
<https://www.nikkenren.com/2days/workstylelab/>



## FILE2



### 「喜ばれるものをつくる」に奮闘する技術者の魅力を紹介

国土交通省 関東地方整備局ホームページ「技術者スピリッツ」



## 技術者スピリッツ 地域の方々の 笑顔のために

仮橋脚ICTによる出来形検測中 (3Dスキャナー)



既製杭 杭芯ICT測量中 (杭ナビ)



定規（井桁設置後のレーザーにて杭芯を上下確認とす。）

休日の過ごし方（彼女と旅行、社会人サッカー、スノーボードなど）



未来の後輩達へのメッセージ

生活の基盤を支える仕事が多いため、責任が重く、苦勞も多々ありますが、その分工事が完成した時は大きな達成感とこの仕事のやりがいを感じることが出来ます。また、自分が今まで関わった現場などを見るたびに、その時の記憶が蘇り感慨深い気持ちになります。この感じる気持ちを是非皆さんにも味わってほしいと強く思います。

私のスピリッツ

私は人々の基礎であるこの土木業界に魅力を感じ、高校卒業後の職に就きました。仕事は地図などに残るものに携わっているので毎日が充実しています。入社して5年が経とうとしている今、なるべく早く資格を取得し「現場代理人」「監理技術者」といった現場の指揮官になれるよう日々精進していきたくと思っています。私の中でのモットーは、【無事故な現場 笑顔の明るい現場】です。

北首都国道事務所と国道4号東埼玉道路（橋脚）の整備に取り組んでいます！  
R2国道4号東埼玉道路中川連絡橋下部その3工事

株木建設株式会社  
担当技術者 木村 竜也(22)





# 建築事業本部の環境への取り組み

目次

企業概要

環境マネジメント

各部門の取り組み

土木部門

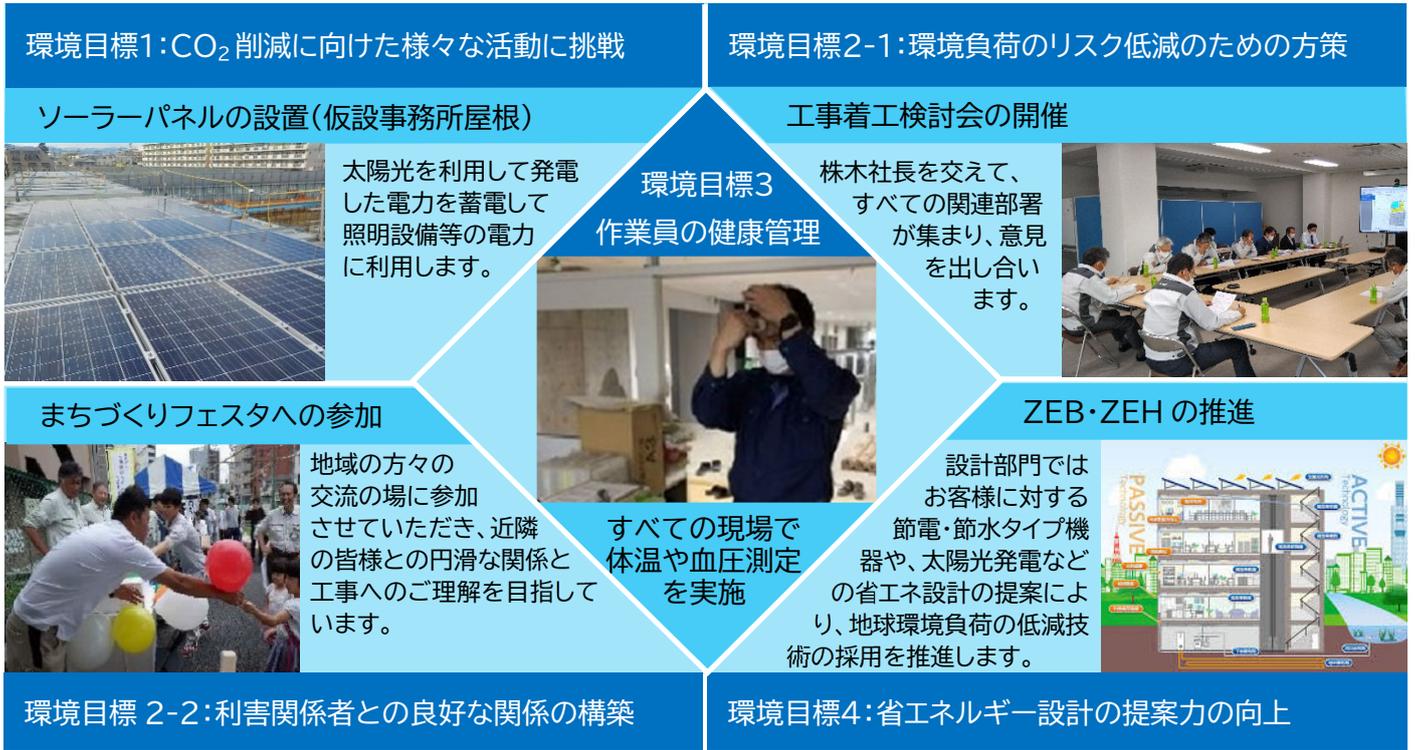
建築部門

管理部門

最近のトピックス

## SDGs の達成目標との関連性

SDGs 達成目標	建築事業本部の環境目標	運用計画
12 つくる責任 つかう責任 	5. 脱炭素への貢献をする。 ▶ 施工時の CO <sub>2</sub> の削減率 2.0%以上 (日建連 CO <sub>2</sub> 排出量調査シートによる)	再エネ電力の検討や LED 照明の採用、及び建設重機稼働率の削減などへの取り組みを本社工事検討会で提案していく。
16 平和と公正を すべての人に 	6. 発注者、利害関係者の要求事項順守 (不適合件数ゼロ件)	検討会において各要求事項を明確にし、パトロールや現況報告書による監視を行う。
3 すべての人に 健康と福祉を 	7. 社員と協力会社作業員の健康の確保を すべての作業所にて実施する。	新規入場時に健康診断の実施を確認し、さらに安全朝礼で全員の健康状態を確認する。
9 産業と技術革新の 基盤をつくらう 	8. 省エネルギー設計を推し進める。	設計案件ごとに計画段階で省エネルギー計算を実施し、外皮性能仮算定や設備機器選定等を行うことにより、省エネ関連資料を整備して客先への説明を行う。



環境目標	目標値	目標達成率	評価
施工中の CO <sub>2</sub> 削減	2.0%	2.3% (目標の 115%)	各拠点検討会も含め、環境負荷低減の施策を具体化して、監視・測定を実施した結果と考える。
利害関係者の要求事項順守	不具合の発生 0件	0件 (100%達成)	毎月の現況報告書と現場パトロールでの指導により抑止効果が発揮したと考える。
健康状態の確認	体調不良が起因する事故:0件	0件 (100%達成)	新規入場時教育および毎日の朝礼時の健康チェック(体温/血圧、平衡感覚)が功を奏したと考える。

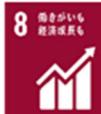


## FILE1



### ICT を活用した生産性の向上に取り組んでいます

工事測量の省力化・クラウドを活用した効率化の実現

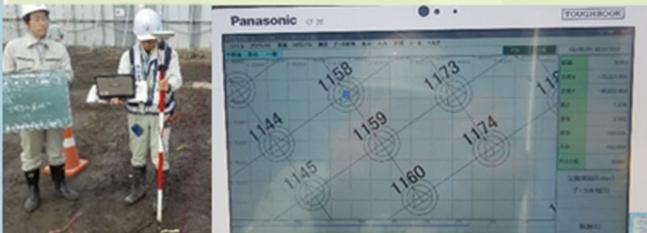


#### VRS システムによる杭芯測量

##### 《作業手順》

- ① 事前に地盤改良工の杭芯座標をパソコンに入力する。
- ② GPS 衛星の信号を受信して杭芯位置を測定する。

##### VRS システムの仕組み



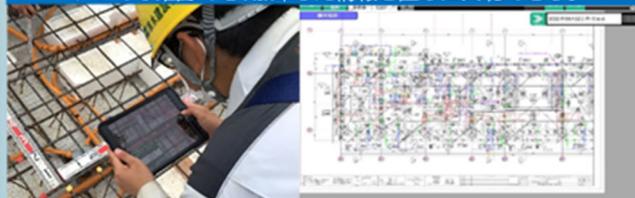
##### 《効果》

- ◆ 測定者一人で高精度な測量が実施可能
- ◆ 固定点の設置および観測が不要(ネットワーク型 RTK)

#### クラウドサーバーを活用した現場作業の効率化

##### 《効率化の具体例》

- ① 撮影した工事写真をクラウドサーバーで簡単に整理できる。
- ② 現場での打ち合わせ事項をリアルタイムで共有できる。
- ③ 施工図面をクラウドサーバーに保管して、現場で必要な時にいつでも確認でき、加筆した情報を直ちに共有できる。



朝礼	調整会議	会議	翌日・翌々日準備	作業予定・配置計画	資機材搬入出計画
20分	15分	30分	40分	40分	
10分削減	25分削減		50分削減		
10分	5分	15分	15分	15分	1日当たり約85分削減

Web上に施工管理情報を集約し、タブレット、パソコン、スマートフォンからアクセスが可能である。そのため、現場で打ち合わせた作業計画や資機材の搬入予定をリアルタイムで記録・保存ができ、施工管理および安全管理に費やす時間を約6割削減できる。

1か月あたり約35時間削減⇒残業時間の削減・休日の確保

## FILE2



### 環境にやさしく温もりのある木材をもっと建築に

公共施設(学校・庁舎)での導入例



木材を主構造とする建物を積極的に受注し、そのノウハウを生かし地球環境の維持に貢献したいと考えます。



ひたち野うしく中学校新築工事  
(令和元年2月竣工)  
所在地:茨城県牛久市東端穴町  
概要:建築面積 10453.3㎡  
延床面積 7941.9㎡  
最高高さ 12.3m



中里中学校 校舎改築工事  
(令和4年2月竣工)  
所在地:茨城県日立市東河内町地内  
概要:建築面積 2,069.02㎡  
延床面積 2,839.70㎡  
最高高さ 8.52m



大子町新庁舎建設工事  
(令和4年7月竣工)  
所在地:茨城県久慈郡大子町  
概要:建築面積 3,806.6㎡  
延床面積 5,114.4㎡  
最高高さ 8.85m

# 管理本部の環境への取り組み

目次

企業概要

環境マネジメント

各部門の取り組み

土木部門

建築部門

管理部門

最近のトピックス

## SDGs の達成目標との関連性

SDGs 達成目標	管理本部の環境目標	運用計画
 14 海の豊かさを守ろう  15 陸の豊かさも守ろう	9. 企業価値向上のため、社会貢献活動への取り組み・参加を推進する。 <b>【目標値】</b> 年 10 回以上の実施・参加	④ 店社所在地での地域貢献活動の実施、または、関係団体等の主催する社会貢献活動への参加、協力等 ⑤ 上記活動状況を記録、全社での実施・参加状況を水平展開し、全社員への社会貢献取り組みに対するモチベーションを高める。

### 株木建設クリーン活動(東京都豊島区)



#### 【夏季実施】

実施日:2021年7月20日

参加人数:19名

#### 【冬季実施】

実施日:2021年11月30日

参加人数:19名

#### 《活動概要》

地域環境活動の一環として、東京本社・本店が入居するマルカブビル周辺の清掃活動を実施した。



### 「海の日」関連イベント 馬堀海岸夏季清掃ボランティア活動



実施日:2021年7月21日

主催者:(一社)日本埋立浚渫協会 関東支部  
参加人数:3名(当社)

#### 《活動概要》

「海の日」に関連して、神奈川県横須賀市の馬堀海岸の清掃活動を実施した。

社会貢献活動の名称	実施日	活動概要
みやぎスマイルポート・プログラム	2021年6月21日	宮城県仙台塩釜港での道路清掃活動
みやぎスマイルポート・プログラム	2021年9月16日	//

環境目標	目標値	目標達成率	評価
社会貢献活動の実施	10件/年	5件/年 (目標の50%)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、地域のイベントも中止が多く、清掃活動以外の目立った実績が少ないのが実情である。今後は、社会情勢を見極めて積極的に参加していきたい。



## FILE1



### 学生のインターンシップの受け入れを実施しています



8 働きがいも 経済成長も



#### 【目的】

- ・職場体験を通じ、施工管理の仕事内容や工事現場の雰囲気について、学生に理解を深めてもらう。
- ・当社の現場の魅力を知ってもらい、今後の採用活動に結び付ける。

#### 【インターンシップの開催回数と参加人数】

形式	部門		建築		摘要
	土木	建築	土木	建築	
対面(1day・長期)	5回	9名	10回	18名	2023年春卒業予定の学生を対象に、2021年8月～2022年2月の期間で実施しました。対面とオンラインの参加者は合計で82名です。
オンライン	4回	28名	3回	27名	

#### 【職場体験の内容】



工事現場の見学



作業計画の説明



測量機器の据付け体験



施工管理写真の撮影体験



工程管理の説明



ICT 測量機器の説明

#### 【参加した学生の感想】

- ・施工管理は人とのコミュニケーションが大切だと分かった。
- ・社員の方が優しく、分からないことがないかとその都度気にかけてくださったので質問がしやすかった。
- ・作業所でうまく連携が取れるように工夫されていると感じた。
- ・職人さんとの交流も積極的に行っており、建設会社のイメージが変わるきっかけになった。
- ・働いている人同士の関係が良い職場だと感じた。

# ICT・現場支援室の設立

建設工事の生産性の向上と若手技術者の担い手確保のため、ICT（情報通信技術）を応用した新技術の導入を支援する目的で設立しました。

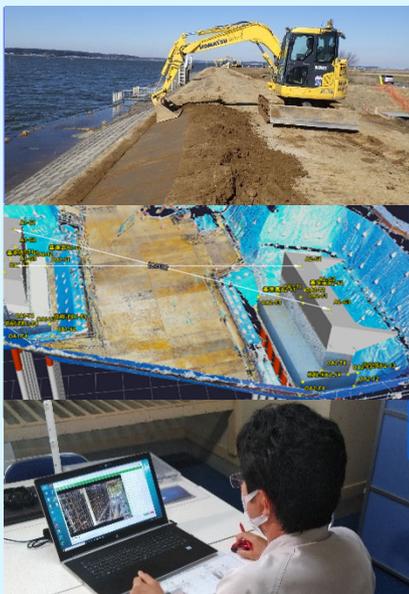


## 従来の施工管理手法との比較

	起工測量	設計照査	工事測量	出来形検測	完成図書
従来の方法	マンパワー 	紙媒体 	マンパワー 	マンパワー 	紙媒体 
	3次元点群データ 	3次元モデル 	測定の誘導 	3次元点群データ 	BIM/CIM 

従来の施工管理は、2次元の設計図書から起こしたデータを現地に落とし込むため、技術者個人の経験と技量により作業効率が異なりました。しかし、建設技術者が不足する現在では、生産性の向上の観点から技量の平準化による効率化が求められます。そのため、3次元点群データおよび3次元モデル等の技術を応用したデジタルツインにより、施工管理の省力化と高度化を図ります。

## ICT を活用した業務支援の内容



### ICT 施工の3D 設計データ作成の支援

最初に、3D スキャナーを用いて施工場所の地形を測定します。次に、設計の 3 次元モデルを作成して地形データと合成します。この合成したデータを用いて ICT 建機で施工することで、丁張りが不要になります。

### 3D スキャナーを活用した出来形管理・CIM 納品の支援

施工段階ごとに3Dスキャナーで構築物の3次元点群データを取得し、出来形寸法および構築物の位置を確認します。また、構築物の 3 次元モデルに部材の属性（材質・強度・製作番号等）を付与して電子納品します。

### 遠隔臨場を活用した検査の効率化の支援

建設現場内に Wi-Fi 環境を整備し、スマートフォンを使用して遠隔地とリアルタイムに通信します。これにより、移動に伴う時間の削減や自動車の CO<sub>2</sub> 排出量を削減します。

## i-construction・BIM/CIM の支援実績

種別	i-construction		BIM/CIM	摘要
	工事起工測量	3D 設計データ作成	電子納品	
土木工事	6 件	4 件	5 件	国土交通省発注工事 7 件
建築工事	(2 件予定)	(1 件予定)	未定	民間発注工事 2 件

## 国土交通省 関東地方整備局 工事成績優秀企業の認定を受けました



関東地方整備局(港湾空港部を除く。)において、過去2カ年度に完成した土木工事(3件以上)を受注した企業の工事成績評定点の平均点を算出し、企業の工事成績評定結果のランキングを作成して審査を行います。

当社は、2019年度・2020年度の12件の土木工事において平均点80点を取得し、上位61社の一企業として、工事成績優秀企業の認定を受けました。

認定された工事成績優秀企業は、工事を受注した際には発注者が行う中間技術検査を省略することができます。また、総合評価方式において企業の評価が優位となり、工事受注の機会が増加します。

## 技術系・事務系資格の有資格者数

当社は、人材の育成のため各種資格の取得に向けた支援を実施しています。例えば、受験対策資料の作成や実力テストの実施、通信教育の紹介などがあります。

有資格者は建設企業の原動力であり、社員の成長を支援することが企業の務めであると考えます。

資格名	2021年度 新規登録者数	累計有資格者数	摘要
技術士	1名	7名	国家資格
技術士補(JABEE 認定課程含む)	3名	11名	国家資格
1級建築士	1名	30名	国家資格
2級建築士	2名	19名	国家資格
測量士	0名	24名	国家資格
測量士補	0名	22名	国家資格
1級土木施工管理技士	4名	128名	国家資格
2級土木施工管理技士	6名	25名	国家資格
1級建築施工管理技士	3名	98名	国家資格
2級建築施工管理技士	2名	8名	国家資格
1級造園施工管理技士	0名	17名	国家資格
1級管工事施工管理技士	1名	5名	国家資格
1級電気工事施工管理技士	0名	5名	国家資格
甲種火薬類取扱保安責任者	0名	59名	国家資格
コンクリート診断士	0名	4名	民間資格
コンクリート技士	1名	39名	民間資格
海上工事施工管理技術者	1名	8名	民間資格
海洋・港湾構造物維持管理士	0名	1名	民間資格
簿記検定1級	0名	2名	国家資格
簿記検定2級	0名	4名	国家資格
宅地建物取引士	2名	9名	国家資格
1級建設業経理士	0名	4名	民間資格
2級建設業経理士	2名	21名	民間資格

# 環境報告書 2021

2022(令和4)年 9月 1日発行

編集者:土木事業本部 廣瀬 正和

発行者:品質環境管理室 責任者 小酒井 聡

株木建設株式会社 東京本社  
<https://www.kabuki.co.jp/>  
〒171-8560 東京都豊島区高田三丁目31番5号  
TEL:03-3984-4111 (代表)

## 環境報告書 2021 編集委員会構成

委員長	小酒井 聡	品質環境管理室
副委員長	船生 佳香	品質環境管理室
幹事	廣瀬 正和	土木事業本部
委員 (五十音順)	井尻 有樹雄	管理本部(総務)
	佐々木 春菜	管理本部(情報)
	関 隆弘	管理本部(総務)
	曾我 千晴	管理本部(経理)
	武田 修	土木事業本部
	田中 裕一	建築事業本部
	長島 毅	安全推進室
	山岸 由佳	管理本部(人事)

法律で認められた行為を除き、本報告書の記載内容の転載は必ず許可を得てください。



**SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS**

